1 日目（7 月 4 日）15:15～17:45

公開シンポジウム	コスモスホール（80 年館西棟 6 階）
「特別の教科 道徳」の設置で道徳教育や教育課程がどう変わるのか	

シンポジスト：
西野真由美（国立教育政策研究所）
谷田増幸　（兵庫教育大学）
吉冨芳正　（明星大学）
指定討論者：
田中統治　（放送大学）
司会・コーディネーター：
冨士原紀絵（お茶の水女子大学）
押谷由夫（昭和女子大学）

趣旨説明：

「特別の教科 道徳」が設置され、４月から、全部または一部が実施されています。教育課程に関する最も専門的な学会である日本カリキュラム学会においては、「特別の教科 道徳」の設置を、我が国の教育の在り方、とりわけ教育課程の在り方について根本的な改善につながるものとしてとらえ、検討をしていく必要があると考えます。

本シンポジウムにおいては、特に次の点について議論を深めていければと考えています。

１．「特別の教科 道徳」のねらいと目的をどのようにとらえるか
・なぜ、いま、「特別の教科 道徳」が設置されるのか
・道徳の特質を踏まえた特別な枠組みによる教科化とはどういうことかなど
２．「特別の教科 道徳」が設置されることで、道徳教育がどう改善されるのか
・道徳教育の抜本的改革を図るとしているがそれはどうとらえればよいのか
・今まである道徳の時間とどう違うのか
・道徳の授業がどう改善されるのか　など
３．「特別の教科 道徳」が設置されることで、学校教育や教育課程がどのように改善されるのか
・道徳教育を中核とした学校教育とはどういうことか
・「特別の教科 道徳」の設置によって学校の教育課程がどのように改善されるのか
・「特別の教科 道徳」の設置が従来の教育課程論にどのような影響を与えるのか　など
４．「特別の教科 道徳」の設置が教員養成や教育研究者養成にどのような影響を与えるのか
・教員養成カリキュラムにおける道徳教育関連科目の改善
・大学や大学院における道徳講座やコースの設置　など